2027年3月期　第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社セック　　上場取引所　東
コード番号　　3741　　ＵＲＬ　https://www.sec.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）櫻井　伸太郎
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理本部長　　（氏名）杉山　寿顕　　ＴＥＬ　03-5491-4770

半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年3月期第2四半期（中間期）の業績（2026年4月1日～2026年9月30日）

（１）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期中間期	5,622	5.7	950	15.0	1,091	22.8	754	21.0
2026年3月期中間期	5,317	18.3	827	8.2	889	9.8	623	10.1

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期中間期	73.89	－
2026年3月期中間期	61.10	－

※2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期中間期	12,381	10,503	84.8
2026年3月期	12,435	10,313	82.9

（参考）自己資本　2027年3月期中間期　10,503百万円　2026年3月期　10,313百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	－	0.00	－	60.00	60.00
2027年3月期	－	0.00			
2027年3月期（予想）			－	62.00	62.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,800	5.2	1,980	5.3	2,300	11.5	1,575	4.3	154.27

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期中間期	10,240,000株	2026年3月期	10,240,000株
②　期末自己株式数	2027年3月期中間期	25,688株	2026年3月期	30,388株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年3月期中間期	10,211,461株	2026年3月期中間期	10,203,716株

※2025年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※　第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔで本日開示いたします。

また、当社は2026年11月25日（水）に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、ＴＤｎｅｔで同日開示いたします。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 3
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間貸借対照表 …… 4
（２）中間損益計算書 …… 5
（３）中間キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）中間財務諸表に関する注記事項 …… 7
(セグメント情報等の注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間における我が国情報サービス業の業況は、総務省「サービス産業動態統計」によると、月別売上高は前年同月比で増加しており、ＩＴ需要は全体的には概ね堅調と推察されます。当社事業分野では、官公庁向けの開発が引き続き好調であり、車両自動走行の研究開発案件や宇宙関連の開発が増加するなど、需要構造の変化が継続しております。

こうした傾向の中、当社は、重点テーマであります「先端技術を窮め、オープン・イノベーションで事業成長を目指す」を実践し、増収増益となりました。

ビジネスフィールド（以下、ビジネスフィールドをＢＦと省略）別には、モバイルネットワークＢＦは、大手通信事業者向けの大規模案件の開発が増加し、売上高は444百万円（前年同期比24.8%増）となりました。インターネットＢＦは、民間企業向けのＤＸ関連の開発が増加したものの、非接触ＩＣ関連の開発ピークが過ぎたことなどにより減少し、売上高は789百万円（同6.4%減）となりました。社会基盤システムＢＦは、司法分野をはじめとした官公庁向けの開発が引き続き好調で、売上高は2,744百万円（同1.0%増）となりました。宇宙先端システムＢＦは、車両自動走行の研究開発案件や宇宙関連の開発が堅調で、売上高は1,644百万円（同17.5%増）となりました。

この結果、全社売上高に占める割合では、宇宙先端システムＢＦ、モバイルネットワークＢＦが増加し、社会基盤システムＢＦ、インターネットＢＦが減少しております。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高5,622百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益950百万円（同15.0%増）、経常利益1,091百万円（同22.8%増）、中間純利益754百万円（同21.0%増）となりました。

ビジネスフィールド（ＢＦ）別売上高

ビジネスフィールド	前中間会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）		当中間会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
モバイルネットワーク	355,979	6.7	444,434	7.9
インターネット	843,535	15.9	789,362	14.0
社会基盤システム	2,718,533	51.1	2,744,753	48.8
宇宙先端システム	1,399,541	26.3	1,644,041	29.3
計	5,317,590	100.0	5,622,592	100.0

ビジネスフィールド（ＢＦ）別受注状況

ビジネスフィールド	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
モバイルネットワーク	346,176	93.7	230,452	119.9
インターネット	777,198	83.7	442,808	86.0
社会基盤システム	1,227,084	38.0	5,729,214	107.3
宇宙先端システム	1,726,493	121.6	1,117,003	133.0
計	4,076,952	68.6	7,519,479	109.2

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当中間会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ53百万円減少し、12,381百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加1,292百万円・受取手形、売掛金及び契約資産の減少1,764百万円などによる流動資産の減少247百万円、投資その他の資産の増加195百万円などによる固定資産の増加194百万円によるものであります。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ243百万円減少し、1,878百万円となりました。これは主に、買掛金の減少144百万円などによる流動負債の減少230百万円、固定負債の減少12百万円によるものであります。

(純資産)

純資産は、中間純利益による増加、配当金支払いによる減少、自己株式処分による増加などの結果、前事業年度末に比べ190百万円増加し、10,503百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の82.9%から84.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比べ1,292百万円増加し、4,614百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において営業活動の結果得られた資金は2,069百万円となりました。これは主に、売上債権の減少1,811百万円・税引前中間純利益1,091百万円による増加、法人税等の支払額237百万円・棚卸資産の増加165百万円による減少によるものであります。前年同期と比較して619百万円の収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において投資活動の結果支出した資金は165百万円となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出101百万円・有形固定資産の取得による支出55百万円によるものであります。前年同期は81百万円の収入でした。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間会計期間において財務活動の結果支出した資金は611百万円となりました。これは主に、配当金の支払い609百万円によるものであります。前年同期と比較して51百万円の支出増となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当中間会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、通期の業績予想につきましては、2026年5月12日の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました業績予想からの変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2026年3月31日)	当中間会計期間 (2026年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,321,583	4,614,175
受取手形、売掛金及び契約資産	6,466,187	4,701,840
商品及び製品	1,259	166,524
その他	135,671	194,377
流動資産合計	9,924,701	9,676,918
固定資産		
有形固定資産	228,890	228,578
無形固定資産	12,809	12,174
投資その他の資産		
投資有価証券	1,094,129	1,243,836
その他	1,174,483	1,220,132
投資その他の資産合計	2,268,613	2,463,969
固定資産合計	2,510,313	2,704,722
資産合計	12,435,014	12,381,640
負債の部		
流動負債		
買掛金	632,306	487,755
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	269,909	315,884
賞与引当金	414,000	362,000
役員賞与引当金	27,500	－
受注損失引当金	16,169	31,801
その他	532,185	464,028
流動負債合計	1,928,071	1,697,470
固定負債		
資産除去債務	68,313	68,538
その他	125,555	112,491
固定負債合計	193,868	181,030
負債合計	2,121,940	1,878,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,300	477,300
資本剰余金	611,411	620,891
利益剰余金	9,157,279	9,299,183
自己株式	△36,857	△31,156
株主資本合計	10,209,133	10,366,219
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	103,940	136,921
評価・換算差額等合計	103,940	136,921
純資産合計	10,313,074	10,503,140
負債純資産合計	12,435,014	12,381,640

（２）中間損益計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
売上高	5,317,590	5,622,592
売上原価	3,760,850	3,841,622
売上総利益	1,556,739	1,780,969
販売費及び一般管理費	729,667	830,049
営業利益	827,072	950,920
営業外収益		
受取利息	9,911	17,304
受取配当金	847	2,136
不動産賃貸料	2,069	2,055
補助金収入	26,163	97,531
受取出向料	22,235	21,513
その他	2,055	1,758
営業外収益合計	63,282	142,300
営業外費用		
支払利息	550	737
不動産賃貸費用	740	740
支払手数料	2	1
その他	0	－
営業外費用合計	1,294	1,479
経常利益	889,060	1,091,742
税引前中間純利益	889,060	1,091,742
法人税、住民税及び事業税	207,959	279,702
法人税等調整額	57,656	57,558
法人税等合計	265,616	337,260
中間純利益	623,444	754,481

（３）中間キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間会計期間 （自　2025年4月1日 至　2025年9月30日）	当中間会計期間 （自　2026年4月1日 至　2026年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	889,060	1,091,742
減価償却費	24,705	33,305
賞与引当金の増減額（△は減少）	△44,000	△52,000
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△31,250	△27,500
長期未払金の増減額（△は減少）	－	△84,542
受注損失引当金の増減額（△は減少）	△14,536	15,631
前払年金費用の増減額（△は増加）	△31,489	△41,782
受取利息及び受取配当金	△10,758	△19,440
支払利息	550	737
売上債権の増減額（△は増加）	2,425,312	1,811,798
未収入金の増減額（△は増加）	△30,049	△67,019
棚卸資産の増減額（△は増加）	342,235	△165,264
仕入債務の増減額（△は減少）	△458,798	△144,551
未払金の増減額（△は減少）	△139,031	△41,646
未払消費税等の増減額（△は減少）	89,646	△100,515
その他	32,882	81,049
小計	3,044,479	2,290,000
利息及び配当金の受取額	10,819	18,095
利息の支払額	△550	△749
法人税等の支払額	△365,743	△237,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,689,004	2,069,467
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△75,902	△55,109
無形固定資産の取得による支出	△5,899	△2,556
投資有価証券の取得による支出	△974	△101,546
投資有価証券の売却及び償還による収入	200,000	－
敷金及び保証金の差入による支出	△35,360	△6,459
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,862	△165,672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	150,000
短期借入金の返済による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△557,761	△609,940
自己株式の取得による支出	△205	－
リース債務の返済による支出	△1,260	△1,260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559,227	△611,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	2,211,638	1,292,592
現金及び現金同等物の期首残高	2,231,686	3,321,583
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,443,325	4,614,175

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

当社は、情報サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。